

おるご〜る

No.
182

男女共同参画
わこうプラン推進委員だより

閩人権文化課 ☎424-9088

「アンダーパス冠水」 に想う!

わこうプラン推進委員
大河内 茂美

6月25日の集中豪雨は、かつて経験したことのない風雨でした。このときの和光市駅西側の東上線下のアンダーパス（潜り抜け式道路）の冠水には、ビックリ仰天しました。そして、続く翌週には今度は大型の8号台風です。幸いこの地域は無事でしたが、各地に被害をもたらしました。最近の地震の状況も気になります。震度4～5弱程の地震が、北海道や東北地方に起こっており、巨大地震への不安感が増すばかりです。毎日クスリを離せず、年齢もウン十ウン歳となった筆者も、いわば「準災害弱者」。とにかく、大災害が起ころぬことを祈るばかりです。

災害と言えば、3年前にインタビューした際の元千葉県知事の堂本暁子氏（男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表）のコトバが思い出されます。その年の「おるご〜る」は、災害がテーマでした。堂本氏は、多忙の中を筆者など推進委員のインタ

ビューにも気さくにに応じてくださいました。お話の中で、「防災対策に女性の視点あるいは男女共同参画の視点が必要」と力説され、「男女共同参画の進んでいる地域は、災害に強い地域だ」と強調されていたのが、印象的でした。

恥ずかしながら、以前は災害対策と言えば「腕力のある男」の仕事で、「男がマネジメントする分野」だと誤った考えを持っていました。目からウロコでした。

避難所の運営や復旧時の役割分担、復興施策、経済的支援などの企画決定などに、男性のみの参加では不適切あるいは不公平な結果に陥りがちです。女性の参加と登用が必要です。3.11の直後から何回と現地を往復された堂本氏から発せられたコトバでしたので、説得力がありました。

「災害弱者」となる日が近付きつつある筆者もつくづく、男女共同参画推進で「地域力の向上」を願っております。

「男女共同参画苦情等処理窓口をご利用ください!」

「市の男女共同参画推進施策や男女共同参画の推進に影響を及ぼす施策への苦情」や「セクハラや男女共同参画を阻害する人権侵害の相談」をお受けします。

閩人権文化課 ☎424-9088